

TORAY

Innovation by Chemistry

2010年2月5日

2010年3月期第3四半期決算の概要

東レ株式会社

I. 2010年3月期第3四半期決算の概要

2010年3月期第3四半期連結決算概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P6)
設備投資額・減価償却費	(P7)
事業セグメント別売上高・営業利益	(P8)
事業セグメント別業績	(P9-16)
主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)	(P17)
営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)	(P18)
トータルコスト競争力強化(TC)プロジェクト進捗状況	(P19)
事業セグメント別営業利益 2Qvs3Q比較	(P20)

II. 2010年3月期連結業績見通し

2010年3月期連結業績見通し	(P22)
事業セグメント別業績見通し	(P23)
事業セグメント別営業利益見通し 2Q時vs今回比較	(P24)
棚卸資産の見通し	(P25)
キャッシュ・フローの見通し	(P26)
売上高・営業損益の四半期推移	(P27)
連結営業利益の推移	(P28)

I . 2010年3月期第3四半期決算の概要

2010年3月期第3四半期連結決算概要



Innovation by Chemistry

単位: 億円

	09年3月期 第3四半期 (10~12月)	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上高	3,681	3,619	-62 (-1.7%)	11,690	9,798	-1,891 (-16.2%)
売上原価	2,994	2,975	-19 (-0.6%)	9,514	8,091	-1,423 (-15.0%)
売上総利益	687	644	-43 (-6.2%)	2,176	1,707	-469 (-21.5%)
(売上高総利益率)	18.7%	17.8%	-0.9 ポイント	18.6%	17.4%	-1.2 ポイント
販売費及び 一般管理費	558	497	-61 (-10.9%)	1,745	1,506	-239 (-13.7%)
(売上高販管費比率)	15.2%	13.7%	-1.4 ポイント	14.9%	15.4%	+0.4 ポイント
営業利益	128	147	+18 (+14.4%)	431	202	-230 (-53.2%)
(売上高営業利益率)	3.5%	4.1%	+0.6 ポイント	3.7%	2.1%	-1.6 ポイント
営業外収支	▲67	▲193	-126	▲95	▲275	-180
経常損益	61	▲46	-107 (-)	336	▲73	-409 (-)
特別損益	▲135	▲34	+101	▲182	▲84	+98
税前提損益	▲73	▲80	-7 (-)	154	▲157	-311 (-)
四半期純損益	▲51	▲131	-81 (-)	55	▲194	-249 (-)

	(09/3 3Q)	→	(10/3 3Q)	(09/3 3Q累計)	→	(10/3 3Q累計)		
為替レート <円/US\$>	期中平均	:	96.3	→	89.7	102.8	→	93.6
	期末	:	91.0	→	92.1			
<円/ユーロ>	期中平均	:	126.7	→	132.7	150.7	→	133.0
	期末	:	128.0	→	132.0			
原油価格 <US\$/バレル>	(DUBAI FOB) 期中平均	:	52.6	→	75.2	94.3	→	67.4

(注)3月期決算会社は10~12月の業績、12月期決算会社は7~9月の業績を連結

営業外収支

Innovation by Chemistry

億円

	09年3月期 第3四半期 (10~12月)	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業外収益	22	22	-0	96	53	-43
受取利息及び配当金	13	8	-5	33	20	-13
持分法による投資利益	-	-	-	25	-	-25
雑収入	10	15	+5	37	33	-4
営業外費用	▲ 89	▲ 215	-125	▲ 191	▲ 328	-137
支払利息	▲ 32	▲ 21	+11	▲ 88	▲ 70	+17
持分法による投資損失	▲ 12	▲ 162	-149	-	▲ 160	-160
雑損失	▲ 45	▲ 32	+13	▲ 103	▲ 98	+5
営業外収支	▲ 67	▲ 193	-126	▲ 95	▲ 275	-180
金融収支	▲ 19	▲ 13	+6	▲ 54	▲ 50	+4

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益



Innovation by Chemistry

億円

	09年3月期 第3四半期 (10~12月)	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
特別利益	1	2	+1	23	4	-18
有形固定資産売却益	1	1	+1	6	3	-3
投資有価証券売却益	0	1	+1	17	1	-16
特別損失	▲ 135	▲ 36	+99	▲ 205	▲ 88	+117
有形固定資産処分損	▲ 15	▲ 17	-2	▲ 33	▲ 33	-0
減損損失	-	▲ 13	-13	-	▲ 20	-20
投資有価証券評価損	▲ 95	▲ 1	+94	▲ 101	▲ 22	+79
関係会社事業損失	▲ 24	▲ 3	+21	▲ 52	▲ 3	+49
たな卸資産評価損	-	-	-	▲ 12	-	+12
その他	▲ 1	▲ 3	-2	▲ 7	▲ 10	-3
ネット特別損益	▲ 135	▲ 34	+101	▲ 182	▲ 84	+98

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

TORAY

Innovation by Chemistry

	09年3月末	09年12月末	増減	億円
資産合計	15,236	15,309	+73	
流動資産	6,559	6,767	+208	
有形固定資産	5,963	5,813	-150	
無形固定資産	105	100	-6	
投資その他	2,609	2,630	+20	

	09年3月末	09年12月末	増減
負債合計	10,110	10,271	+161
流動負債	4,608	4,830	+222
固定負債	5,502	5,441	-61
純資産合計	5,126	5,038	-88
有利子負債残高	6,639	6,816	+177
D/Eレシオ	1.42	1.49	+0.07

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

億円

	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業活動	▲11	480	+491
投資活動	▲898	▲479	+420
フリー・キャッシュ・フロー	▲909	2	+911

設備投資額・減価償却費



Innovation by Chemistry

億円

	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
設備投資額	672	386	-286	東レ:169、国内:40、海外:177
減価償却費 ー)	627	554	-73	東レ:279、国内:76、海外:199
振替・除却等	▲ 448	18	+466	
有形固定資産増減	▲ 403	▲ 150		

主な設備投資：

<国内>東レ

<海外>TFE(Toray Films Europe)

:炭素繊維設備

:PPフィルム設備

事業セグメント別売上高・営業利益

TORAY

Innovation by Chemistry

単位：億円

	売上高			営業利益		
	09年3月期 第3四半期 (10~12月)	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	09年3月期 第3四半期 (10~12月)	10年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減
繊維	1,517	1,512	-4 (-0.3%)	37	67	+30 (+80.9%)
プラスチック・ケミカル	968	890	-78 (-8.1%)	26	34	+9 (+33.3%)
情報通信材料・機器	563	603	+40 (+7.1%)	32	50	+18 (+55.5%)
炭素繊維複合材料	169	143	-27 (-15.7%)	31	▲ 10	-41 (-)
環境・エンジニアリング	304	326	+22 (+7.2%)	1	3	+1 (+96.5%)
ライフサイエンスその他	160	145	-15 (-9.2%)	2	2	+0 (+13.6%)
(内医薬・医療材)	119	114	-4 (-3.7%)	▲ 4	1	+5 (-)
計	3,681	3,619	-62 (-1.7%)	128	145	+17 (+13.0%)
消去又は全社				0	2	+2
連結	3,681	3,619	-62 (-1.7%)	128	147	+18 (+14.4%)

	売上高			営業利益		
	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
繊維	4,522	3,963	-559 (-12.4%)	99	69	-30 (-30.5%)
プラスチック・ケミカル	3,163	2,427	-735 (-23.2%)	108	45	-62 (-57.9%)
情報通信材料・機器	1,874	1,676	-198 (-10.6%)	128	103	-25 (-19.7%)
炭素繊維複合材料	550	352	-198 (-36.0%)	87	▲ 28	-114 (-)
環境・エンジニアリング	1,108	943	-164 (-14.8%)	4	2	-2 (-51.4%)
ライフサイエンスその他	472	435	-37 (-7.8%)	9	2	-7 (-75.5%)
(内医薬・医療材)	340	338	-2 (-0.6%)	▲ 11	0	+11 (-)
計	11,690	9,798	-1,891 (-16.2%)	434	193	-241 (-55.6%)
消去又は全社				▲ 3	9	+12
連結	11,690	9,798	-1,891 (-16.2%)	431	202	-230 (-53.2%)

事業セグメント別業績(繊維)



Innovation by Chemistry

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		09年 3月期	10年 3月期	増減		09年 3月期	10年 3月期	増減	
売上高	東レ	243	227	-16	(-6.7%)	807	658	-150	(-18.5%)
	国内	774	826	+52	(+6.7%)	2,190	2,100	-90	(-4.1%)
	海外	500	460	-40	(-8.0%)	1,525	1,206	-319	(-20.9%)
	計	1,517	1,512	-4	(-0.3%)	4,522	3,963	-559	(-12.4%)
営業利益	東レ	▲ 6	2	+8	(-)	▲ 6	▲ 39	-33	(-)
	国内	22	26	+4	(+19.2%)	62	51	-11	(-17.5%)
	海外	15	31	+16	(+111.0%)	40	47	+7	(+18.1%)
	修正	6	8	+2		3	9	+6	
	計	37	67	+30	(+80.9%)	99	69	-30	(-30.5%)

<主要関係会社>

国内: 東レインターナショナル、
一村産業、蝶理 他

アジア: PENFABRIC
(マレーシア)、
LUCKYTEX(タイ)、
ITS(インドネシア)、
TFNL(中国) 他

欧米: ALCANTARA
(イタリア) 他

3Q(10~12月)

売上横這い増益

東レ : 衣料用途は厳しい状況が継続。産業用途は自動車用途を中心に回復。

国内子会社: 一部商事子会社の大手SPA向け縫製品事業が好調に推移。

海外子会社: 中国の縫製品事業、ポリエステル長繊維織物事業、不織布事業が堅調に推移。タイ及びチェコのエアバッグ用原糸・織物等の自動車用途が回復基調。

3Q累計
(4~12月)

減収減益

国内では、衣料用途は一部縫製品を除き不振が継続。産業用途は自動車用途を中心に需要が回復基調をたどり、月を追って出荷は上向き。海外では、韓国のポリエステル長繊維事業や中国の不織布事業に加え、タイ及びチェコのエアバッグ用原糸・織物事業なども数量を拡大。

事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)



Innovation by Chemistry

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		09年 3月期	10年 3月期	増減		09年 3月期	10年 3月期	増減	
売上高	東レ	190	169	-21	(-11.0%)	651	469	-181	(-27.9%)
	国内	338	349	+10	(+3.1%)	1,149	971	-179	(-15.6%)
	海外	440	372	-68	(-15.4%)	1,362	988	-375	(-27.5%)
	計	968	890	-78	(-8.1%)	3,163	2,427	-735	(-23.2%)
営業利益	東レ	▲ 10	▲ 1	+8	(-)	▲ 15	▲ 35	-21	(-)
	国内	21	18	-3	(-13.8%)	80	41	-39	(-49.1%)
	海外	14	16	+3	(+18.3%)	39	38	-1	(-2.3%)
	修正	1	1	+0		4	2	-2	
	計	26	34	+9	(+33.3%)	108	45	-62	(-57.9%)

<主要関係会社>

国内: 東レフィルム加工、東レ・ファインケミカル、曾田香料、蝶理 他
 海外: TPA(アメリカ)、TPM(マレーシア)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

3Q(10~12月)

減収増益

東レ : 原燃料価格下落に伴い販売価格は低下も、自動車用途、電機・電子用途を中心に販売量は増加。

国内子会社: 商事子会社の取り扱い高は増加も、フィルム加工子会社、ファインケミカル子会社での需要回復の足取りが鈍い。

海外子会社: 海外フィルム子会社が原料価格下落に伴う販売価格低下の影響を受けるも、マレーシアの樹脂子会社は中国・アセアン向けABS樹脂の拡販を推進。

3Q累計
(4~12月)

需要が回復基調をたどり、マレーシアの樹脂事業やハイブリッドカー向けコンデンサー用フィルム事業などが数量を拡大。

減収減益

事業セグメント別業績(情報通信材料・機器) 'TORAY'

Innovation by Chemistry

単位: 億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		09年 3月期	10年 3月期	増減		09年 3月期	10年 3月期	増減	
売上高	東レ	213	243	+30	(+13.9%)	814	706	-107	(-13.2%)
	国内	177	190	+13	(+7.3%)	530	533	+3	(+0.6%)
	海外	172	170	-3	(-1.6%)	531	436	-94	(-17.8%)
	計	563	603	+40	(+7.1%)	1,874	1,676	-198	(-10.6%)
営業利益	東レ	3	17	+14	(+462.9%)	53	34	-19	(-35.6%)
	国内	18	11	-7	(-38.9%)	44	28	-16	(-35.8%)
	海外	11	21	+11	(+101.6%)	29	39	+10	(+35.4%)
	修正	0	1	+0		2	1	-1	
	計	32	50	+18	(+55.5%)	128	103	-25	(-19.7%)

<主要関係会社>

国内: 東レエンジニアリング、
東レフィルム加工 他

海外: TPA(アメリカ)、
TPEu(フランス)、
TSI(韓国)、
STEMCO(韓国)他

3Q(10~12月)

増収増益

東レ : FPDの生産が好調に推移したこと等により、FPD関連フィルムを中心に販売量が増加。電子部品用フィルム、半導体材料も販売量が回復。

国内子会社 : IT関連機器子会社の売上が減少するも、FPDの生産が好調に推移したこと等により、フィルム加工子会社のFPD関連フィルム加工品の需要が回復。

海外子会社 : FPDの生産が好調に推移したこと等により、FPD向け材料の販売量が増加。

3Q累計
(4~12月)

中国や日本の消費刺激策の効果等もあり、FPDや電子部品向け材料などで、前年度後半に大幅に落ち込んだ需要の回復が進展。

減収減益

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細 **TORAY**

Innovation by Chemistry

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	09／3期第3四半期 (10～12月)		10／3期第3四半期 (10～12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	161	29%	208	34%	+29%
電子部品・半導体・回路材料	181	32%	227	38%	+26%
記録材料	98	17%	78	13%	-20%
機器他	123	22%	90	15%	-27%
情報通信材料・機器セグメント合計	563		603		+7%

	09／3期第3四半期累計 (4～12月)		10／3期第3四半期累計 (4～12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	618	33%	606	36%	-2%
電子部品・半導体・回路材料	641	34%	592	35%	-8%
記録材料	316	17%	216	13%	-32%
機器他	299	16%	262	16%	-13%
情報通信材料・機器セグメント合計	1,874		1,676		-11%

事業セグメント別業績(炭素繊維複合材料) **TORAY**

Innovation by Chemistry

単位: 億円

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減
売上高	東レ	124	109	-15 (-12.5%)	396	269	-126 (-31.9%)
	国内	99	80	-19 (-19.1%)	298	182	-115 (-38.8%)
	海外	136	97	-38 (-28.3%)	476	226	-251 (-52.6%)
	修正	▲ 189	▲ 143	+46 (-)	▲ 619	▲ 325	+294 (-)
	計	169	143	-27 (-15.7%)	550	352	-198 (-36.0%)
営業利益	東レ	4	▲ 3	-7 (-)	27	▲ 34	-61 (-)
	国内	1	1	-0 (-21.1%)	2	1	-1 (-42.4%)
	海外	20	▲ 6	-26 (-)	50	▲ 14	-64 (-)
	修正	6	▲ 2	-8	8	19	+11
	計	31	▲ 10	-41 (-)	87	▲ 28	-114 (-)

<主要関係会社>

国内: 東レインターナショナル
海外: SOFICAR(フランス)、
CFA(アメリカ)、
TCA(アメリカ)

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

3Q(10~12月)

減収減益

スポーツ用途は、汎用品を中心に需要は回復傾向。一般産業用途、航空機用途でも最悪期を脱しつつあるが、前年同期比では、需要の落ち込みは大きい。在庫水準適正化のための減産を継続。

3Q累計
(4~12月)

減収減益

世界的な景気悪化の影響により需要が落ち込んでおり、足元ではスポーツ用途を中心に回復の兆しはあるものの、航空宇宙用途、一般産業用途を含めた全体で出荷は低調に推移。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細



Innovation by Chemistry

【サブセグメント別売上高推移】

単位: 億円

	09/3期第3四半期 (10~12月)		10/3期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	68	40%	67	47%	-2%
スポーツ	32	19%	26	18%	-20%
一般産業	69	41%	50	35%	-27%
炭素繊維計	169		143		-16%

	09/3期第3四半期累計 (4~12月)		10/3期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	224	41%	141	40%	-37%
スポーツ	99	18%	68	19%	-31%
一般産業	228	41%	144	41%	-37%
炭素繊維計	550		352		-36%

事業セグメント別業績(環境・エンジニアリング)



Innovation by Chemistry

単位: 億円

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減
売上高	東レ	21	14	-7 (-32.2%)	58	45	-13 (-22.5%)
	国内	273	300	+27 (+9.9%)	1,028	867	-161 (-15.7%)
	海外	10	11	+2 (+18.1%)	22	32	+10 (+45.7%)
	計	304	326	+22 (+7.2%)	1,108	943	-164 (-14.8%)
営業利益	東レ	▲ 8	▲ 3	+5 (-)	▲ 17	▲ 15	+2 (-)
	国内	8	8	-1 (-11.5%)	23	18	-4 (-19.6%)
	海外	▲ 2	▲ 1	+1 (-)	▲ 5	▲ 6	-2 (-)
	修正	3	▲ 1	-3	2	5	+3
	計	1	3	+1 (+96.5%)	4	2	-2 (-51.4%)

<主要関係会社>

国内: 東レ建設、
東レエンジニアリング、
東レACE、
水道機工 他

3Q(10~12月)

増収増益

東レ : 逆浸透膜の荷動きは堅調に推移。

国内子会社: 商事子会社の取り扱い高は増加、水処理エンジニアリング子会社の業況も改善。一方で、建設事業の業況が低調に推移。

3Q累計
(4~12月)

逆浸透膜の荷動きが堅調に推移し、水処理エンジニアリング子会社の業況も改善。
一方、国内子会社の建設事業やエンジニアリング事業の業況が低調に推移。

減収減益

事業セグメント別業績(ライフサイエンスその他)



Innovation by Chemistry

単位:億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		09年 3月期	10年 3月期	増減		09年 3月期	10年 3月期	増減	
売上高	東レ	26	24	-2	(-6.3%)	63	68	+4	(+6.9%)
	国内	127	117	-10	(-8.2%)	393	352	-42	(-10.6%)
	海外	7	4	-3	(-38.7%)	16	16	+0	(+2.3%)
	計	160	145	-15	(-9.2%)	472	435	-37	(-7.8%)
	(内医薬・医療材)	119	114	-4	(-3.7%)	340	338	-2	(-0.6%)
営業利益	東レ	▲1	3	+3	(-)	▲17	▲5	+13	(-)
	国内	4	3	-1	(-24.3%)	20	5	-15	(-75.5%)
	海外	1	▲0	-1	(-)	2	1	-1	(-49.4%)
	修正	▲3	▲4	-1		5	1	-4	
	計	2	2	+0	(+13.6%)	9	2	-7	(-75.5%)
(内医薬・医療材)	▲4	1	+5	(-)	▲11	0	+11	(-)	

<主要関係会社>

国内:東レ・メディカル、
東レリサーチセンター、
東レエンタープライズ他

3Q(10~12月)

減収増益

医薬・医療材: 医薬事業が堅調に推移。人工腎臓も販売量が増加。

その他: 分析サービス子会社の受注高が減少。

3Q累計
(4~12月)

減収減益

医薬医療材事業では医薬事業が堅調に推移し、人工腎臓も販売量が増加。
ライフサイエンスその他の全体では、国内商事子会社の取り扱い高や分析サービス子会社の受注高が減少。

主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)

Innovation by Chemistry

億円

	売上高			営業利益		
	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	09年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	10年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
東レインターナショナル	3,006	2,556	-450	49	48	-1
東レエンジニアリング	694	595	-99	58	25	-32
東レ建設	328	260	-68	7	0	-7
東レフィルム加工	342	323	-19	12	17	+5
東レ・メディカル	268	261	-7	1	1	+0
TSI(韓国)	665	512	-153	38	50	+12
TPM(マレーシア)	444	382	-62	▲2	14	+16
在東南アジア・子会社 *1						
繊維	819	560	-260	14	8	-7
プラスチック・ケミカル	525	430	-96	9	18	+9
その他	61	49	-12	2	2	-0
計	1,405	1,038	-367	25	28	+2
在中国・子会社 *2						
繊維	678	720	+41	▲4	19	+22
プラスチック・ケミカル	380	272	-108	5	3	-2
その他	104	65	-40	6	1	-6
計	1,162	1,056	-106	7	22	+15
在外・フィルム子会社 *3						
プラスチック・ケミカル	690	470	-220	26	18	-8
情報通信材料・機器	302	253	-49	22	26	+4
計	993	724	-269	49	45	-4

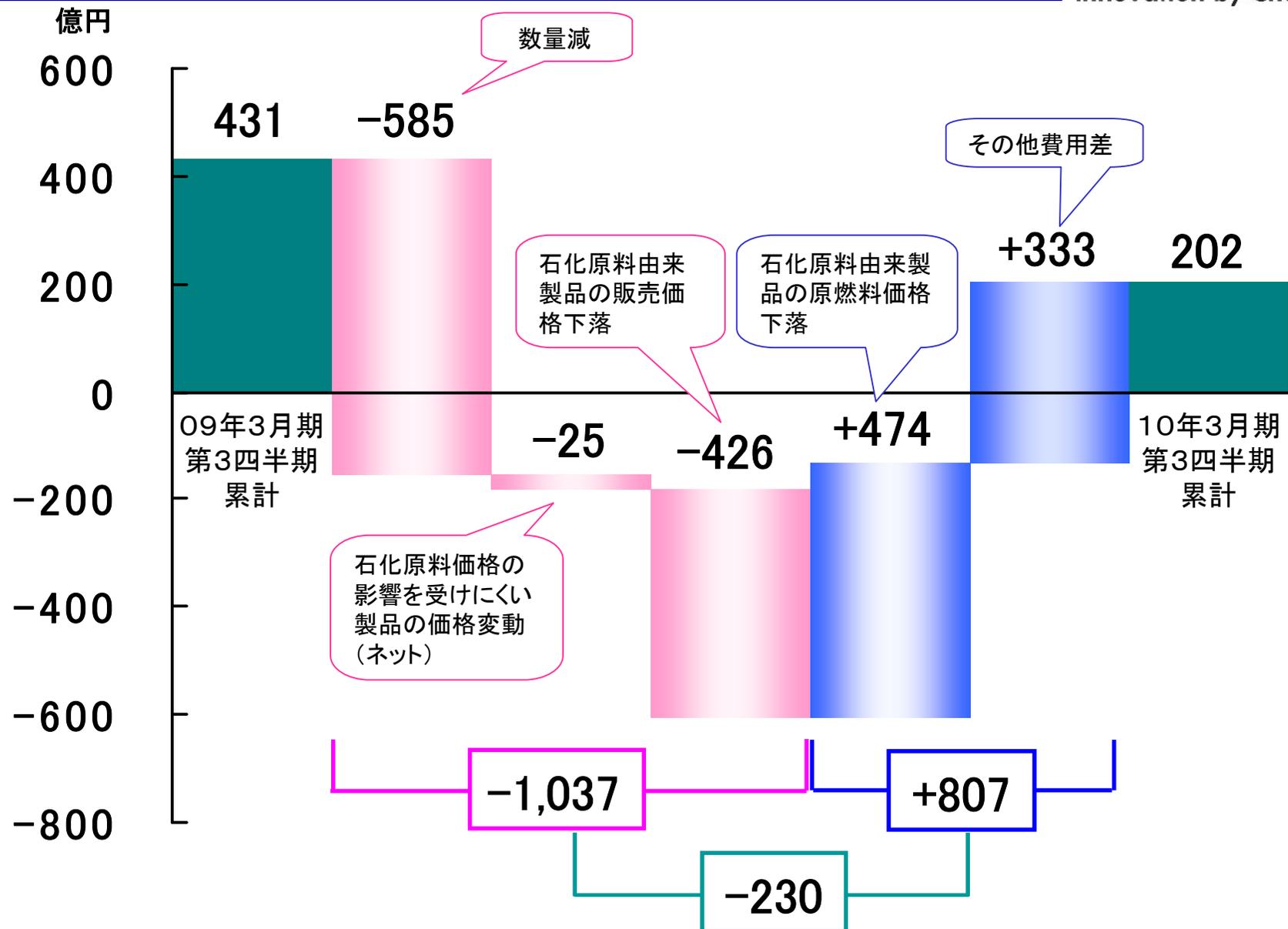
*1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、Penfibre、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

*2: TFNL、TSD、TAK/TAZ、TJQ、TPN、TCH、TSL、THK-G、TPHK/TPSZ、RKH/RKZ、TFH/TFZ、TBMC 単純合計

*3: TSI、Penfibre、TPA、TPEu、TFH/TFZ 単純合計

営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間) 'TORAY'

Innovation by Chemistry



トータルコスト競争力強化(TC)プロジェクト進捗状況



Innovation by Chemistry

コスト削減目標額： 総額1,000億円<内訳 固定費 600億円、比例費 400億円>
(~2011年3月期) (2009年3月期予算比、社内管理ベース)

<TCプロジェクト進捗状況>

単位: 億円

	09年3月期 予算→実績	09年3月期実績 →10年3月期		09年3月期予算 →10年3月期見通し ()内進捗率*3)	TC削減目標額 09年3月期予算 →11年3月期
		3Q累計実績	通期見通し		
固定費削減*1)	200	370	400	600 (100%)	600
比例費削減*2) (グロス)		160	200	200 (50%)	400
合計	200	530	600	800 (80%)	1,000

*1) 固定費削減は営業利益増減要因分析では、その他費用差に含まれる

*2) 比例費削減(グロス)は、原燃料価格の市況要因や為替の変動の影響を除いた原燃料コスト削減額、生産性効率化、物流効率化等の自助努力による比例費削減総額。営業利益増減要因分析では、①石化由来製品の原燃料価格下落 ②石化原料価格の影響を受けにくい製品の価格変動(ネット)③その他費用差、に含まれる

*3) 進捗率は、10年3月期削減見通し迄のTC削減目標額に対する進捗率

事業セグメント別営業利益 2Qvs3Q比較

TORAY

Innovation by Chemistry

億円

事業セグメント	営業利益 10年3月期2Q→ 10年3月期3Q ()内差異	増減益要因
繊維	13→67 (+54)	<ul style="list-style-type: none"> ・エアバッグ用原糸・織物等の自動車用途を中心とする産業用途が回復基調。 ・大手SPA向け縫製品の出荷がピーク。
プラスチック ・ケミカル	20→34 (+14)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車、家電等の最終製品の堅調な需要回復に伴い、樹脂・フィルムを中心に販売量が増加。
情報通信材料 ・機器	38→50 (+11)	<ul style="list-style-type: none"> ・FPDメーカーの生産が堅調に推移したことにより、FPD向け材料を中心に販売量が増加。
炭素繊維 複合材料	▲10→▲10 (-0)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ用途を中心に需要の回復の兆しはあるものの、全体としては、出荷は低調に推移。
環境・エンジニアリング	14→3 (-11)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設子会社及びエンジニアリング子会社が、2Qに大型物件の完工があったことにより、2Q比売上減少。
ライフサイエンス その他	3→2 (-1)	
消去または全社	0→2 (+2)	
連結	79→147 (+68)	

Ⅱ. 2010年3月期連結業績見通し

2010年3月期連結業績見通し

TORAY

Innovation by Chemistry

億円

	09年3月期 実績	10年3月期 前回見通し	10年3月期 今回見通し	対前年比増減	10年3月期 前回見通し との差異
売上高	14,716	13,000	13,500	-1,216 (-8.3%)	+500
営業利益	360	250	400	+40 (+11.1%)	+150
経常利益	205	100	80	-125 (-61.0%)	-20
当期純損益	▲ 163	0	▲ 100	+63 (-)	-100

1株当たり 当期純損益	▲11.7円	0.0円	▲7.1円
1株当たり 配当金	7.5円	5.0円	5.0円

備考：為替レート的前提は、90円/US\$ (10年1月以降)
原油価格見通しは、75US\$/B(DUBAI FOB) (10年1月以降)

事業セグメント別業績見通し(売上高/営業利益)

Innovation by Chemistry

単位: 億円

	売上高			営業利益			10年3月期 2Q時見通し との差異	
	09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減	売上高	営業利益
繊維	5,690	5,200	-490 (-8.6%)	77	120	+43 (+56.6%)	+200	+70
プラスチック・ケミカル	3,776	3,300	-476 (-12.6%)	41	70	+29 (+71.9%)	+200	+20
情報通信材料・機器	2,294	2,300	+6 (+0.3%)	98	170	+72 (+73.1%)	+100	+10
炭素繊維複合材料	704	500	-204 (-29.0%)	84	▲ 40	-124 (-)	—	+40
環境・エンジニアリング	1,602	1,600	-2 (-0.1%)	33	50	+17 (+51.4%)	—	+5
ライフサイエンスその他	649	600	-49 (-7.6%)	32	20	-12 (-37.2%)	—	-5
(内医薬・医療材)	475	480	+5 (+1.1%)	4	10	+6 (+184.1%)	—	-5
消去又は全社				▲ 4	10	+14		+10
連結	14,716	13,500	-1,216 (-8.3%)	360	400	+40 (+11.1%)	+500	+150

(注) 2Q時見通しとは2010年3月期第2四半期決算発表時(11月6日)の見通しです。

事業セグメント別営業利益見通し 2Q時vs今回比較 **TORAY**

Innovation by Chemistry

億円

事業セグメント	10年3月期 営業利益見通し 2Q時→今回 ()内差異	増減益前提要因
繊維	50→120 (+70)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途を中心とした産業用途の需要回復が想定以上。 海外子会社の縫製品事業の好調維持など。 トータルコスト削減。
プラスチック ・ケミカル	50→70 (+20)	<ul style="list-style-type: none"> 一般工業材料、太陽電池向けPETフィルム拡販など。 トータルコスト削減。
情報通信材料 ・機器	160→170 (+10)	<ul style="list-style-type: none"> 韓国子会社のFPD向け材料の拡販など。 FPDの季節的な生産調整は限定的。
炭素繊維 複合材料	▲80→▲40 (+40)	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンの在庫調整が進んでいるスポーツ用途に加え、航空宇宙用途を拡販。 トータルコスト削減。
環境・ エンジニアリング	45→50 (+5)	<ul style="list-style-type: none"> 水処理膜の受注が堅調に推移。 トータルコスト削減。
ライフサイエンス その他	25→20 (-5)	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品で拡販を進めるも2Q時想定を下回る。
消去または全社	0→10 (+10)	
連結	250→400 (+150)	

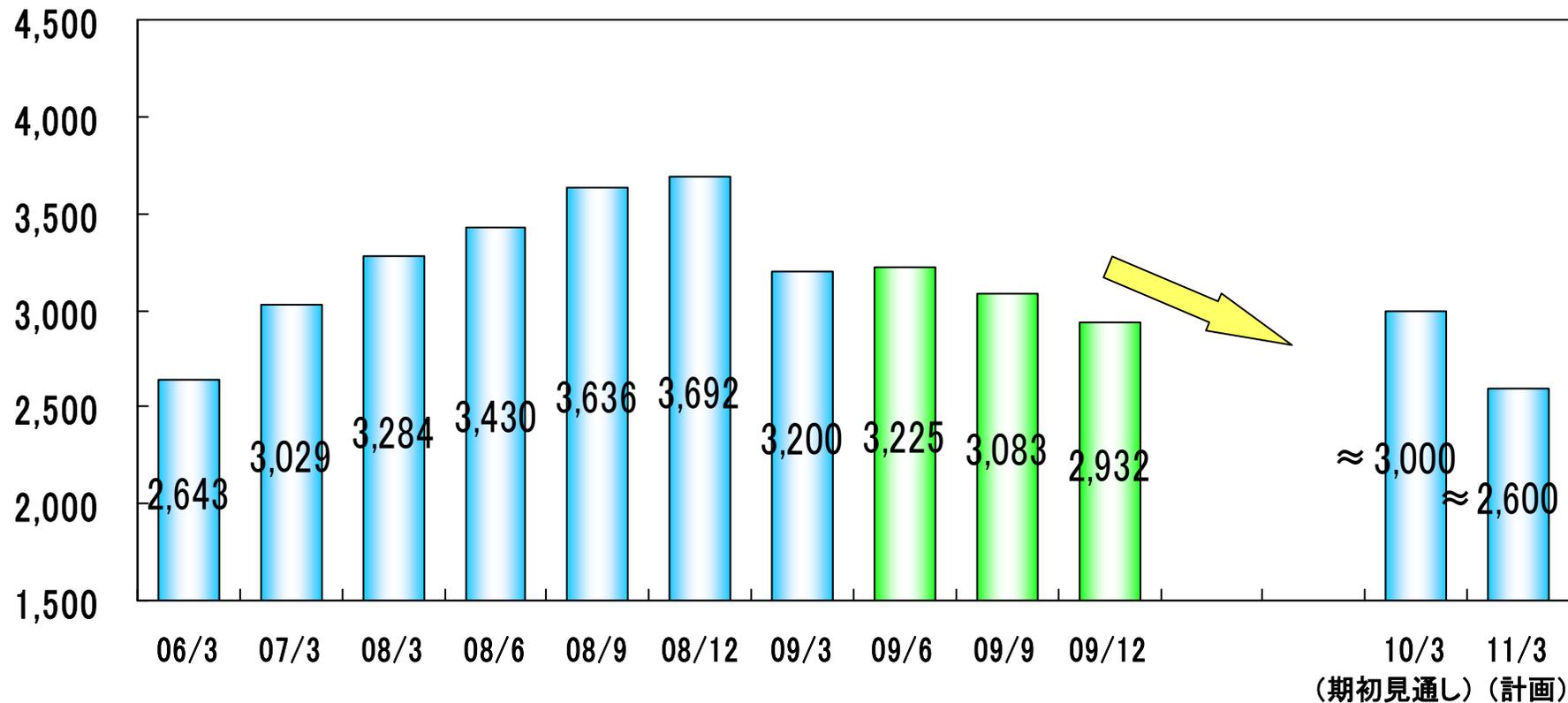
棚卸資産の見通し



Innovation by Chemistry

連結ベース棚卸資産金額の推移

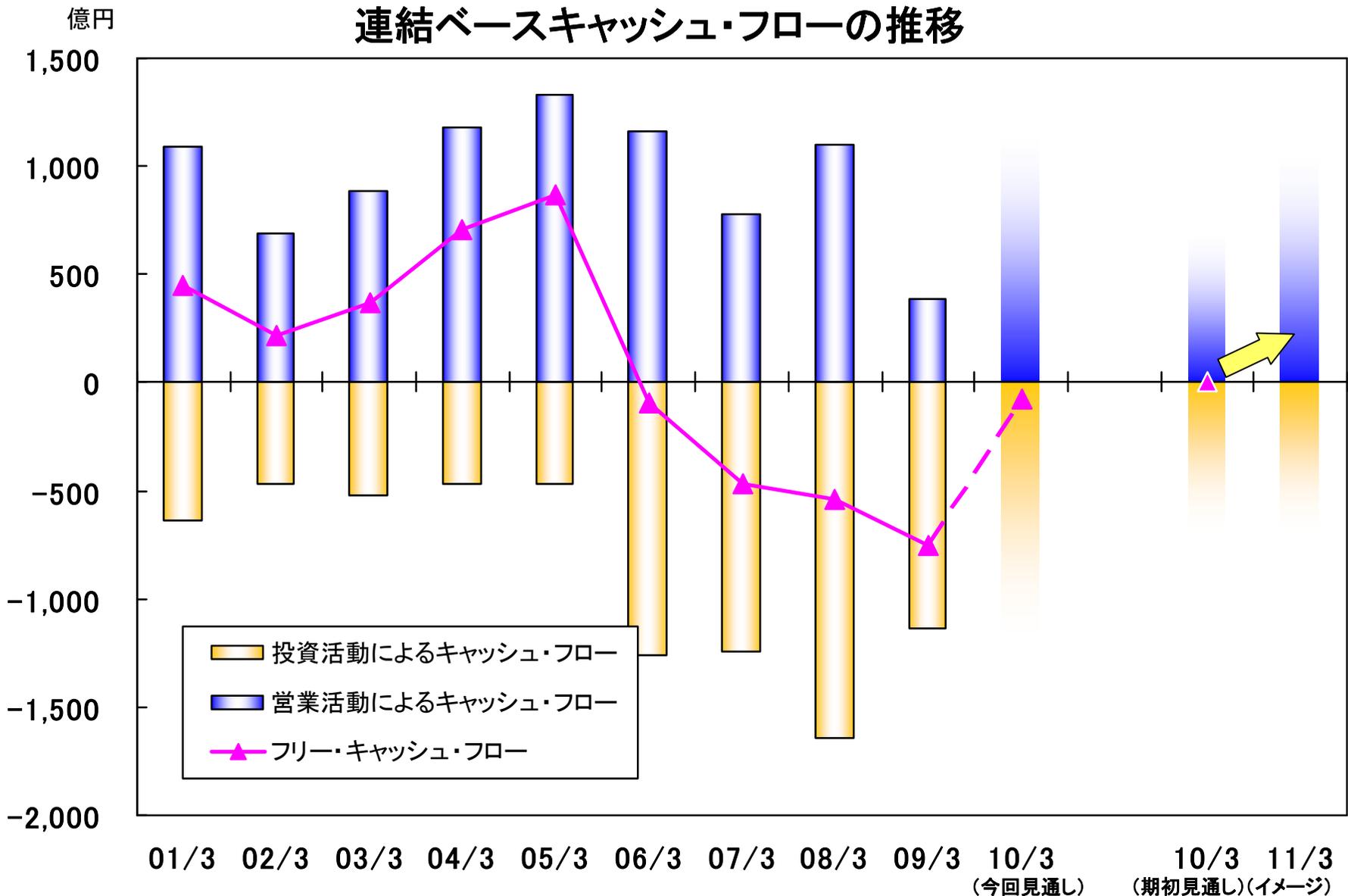
億円



キャッシュ・フローの見通し



Innovation by Chemistry

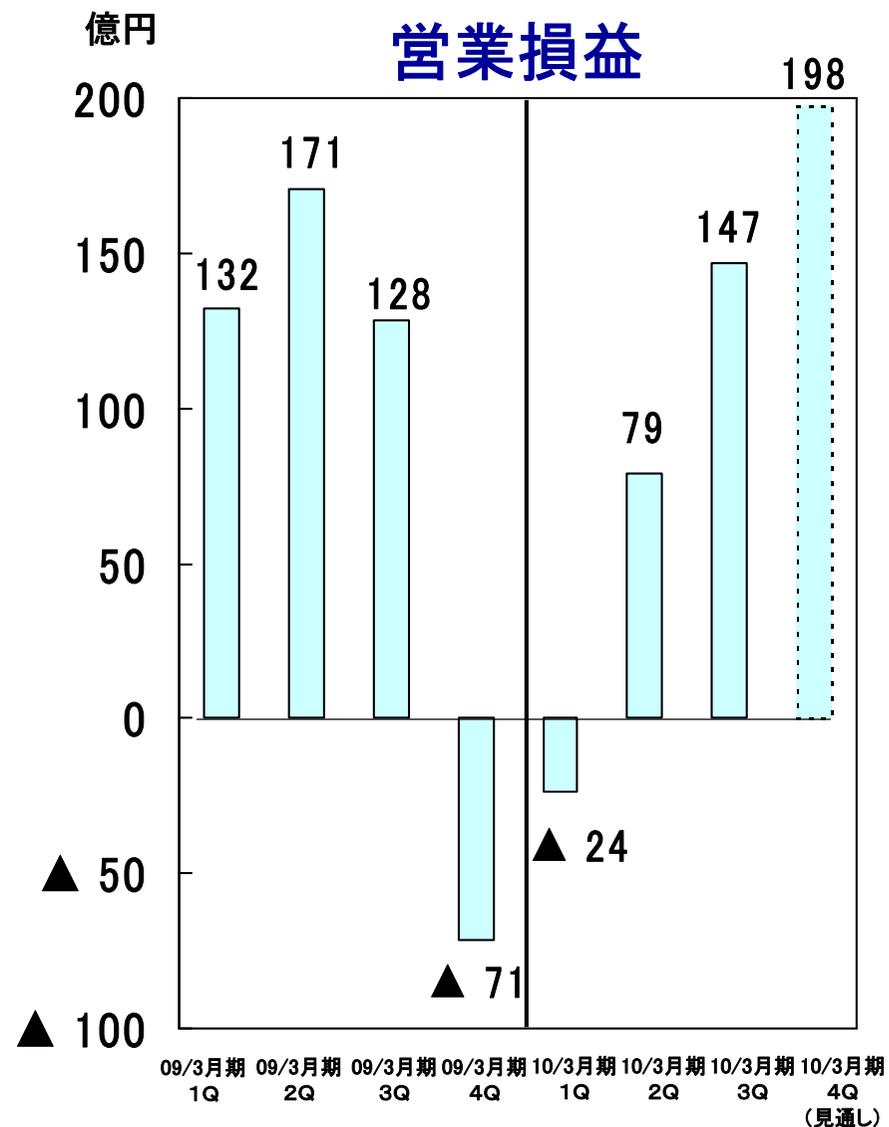
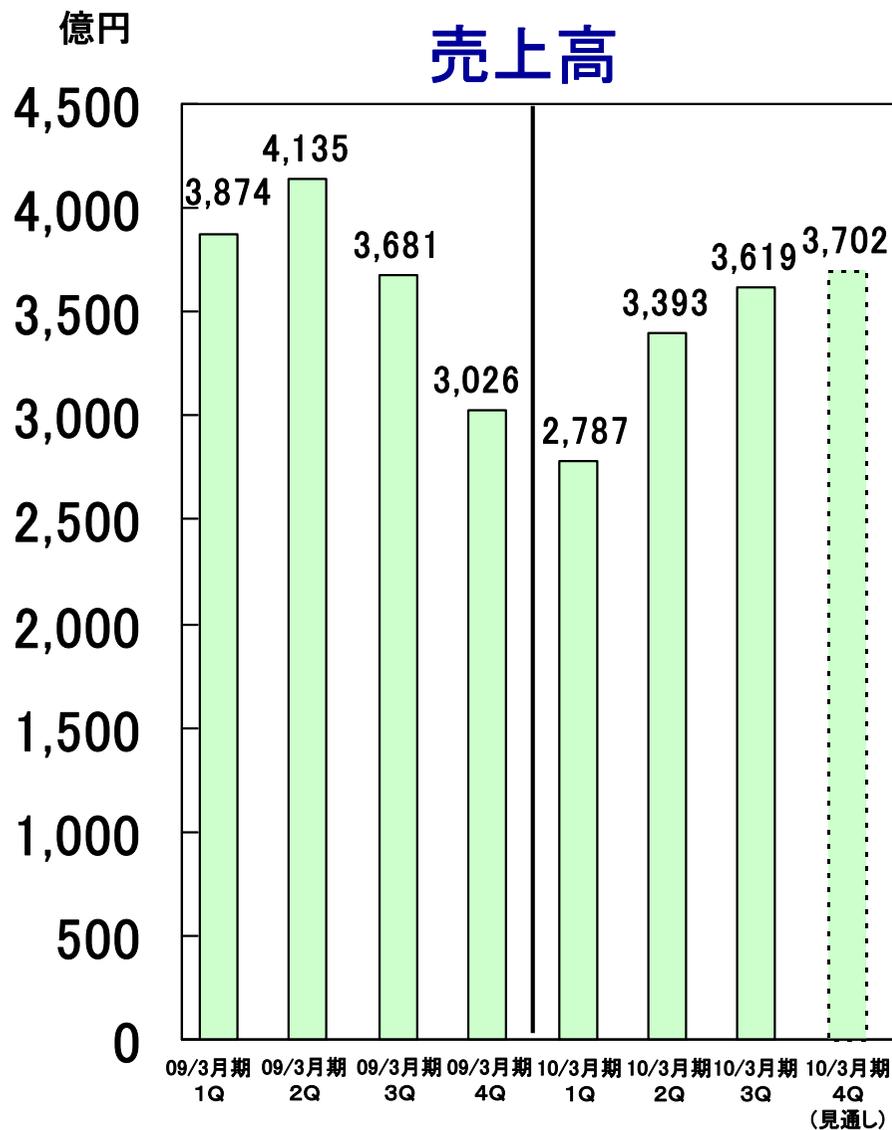


(今回見通し) (期初見通し)(イメージ)

売上高・営業損益の四半期推移



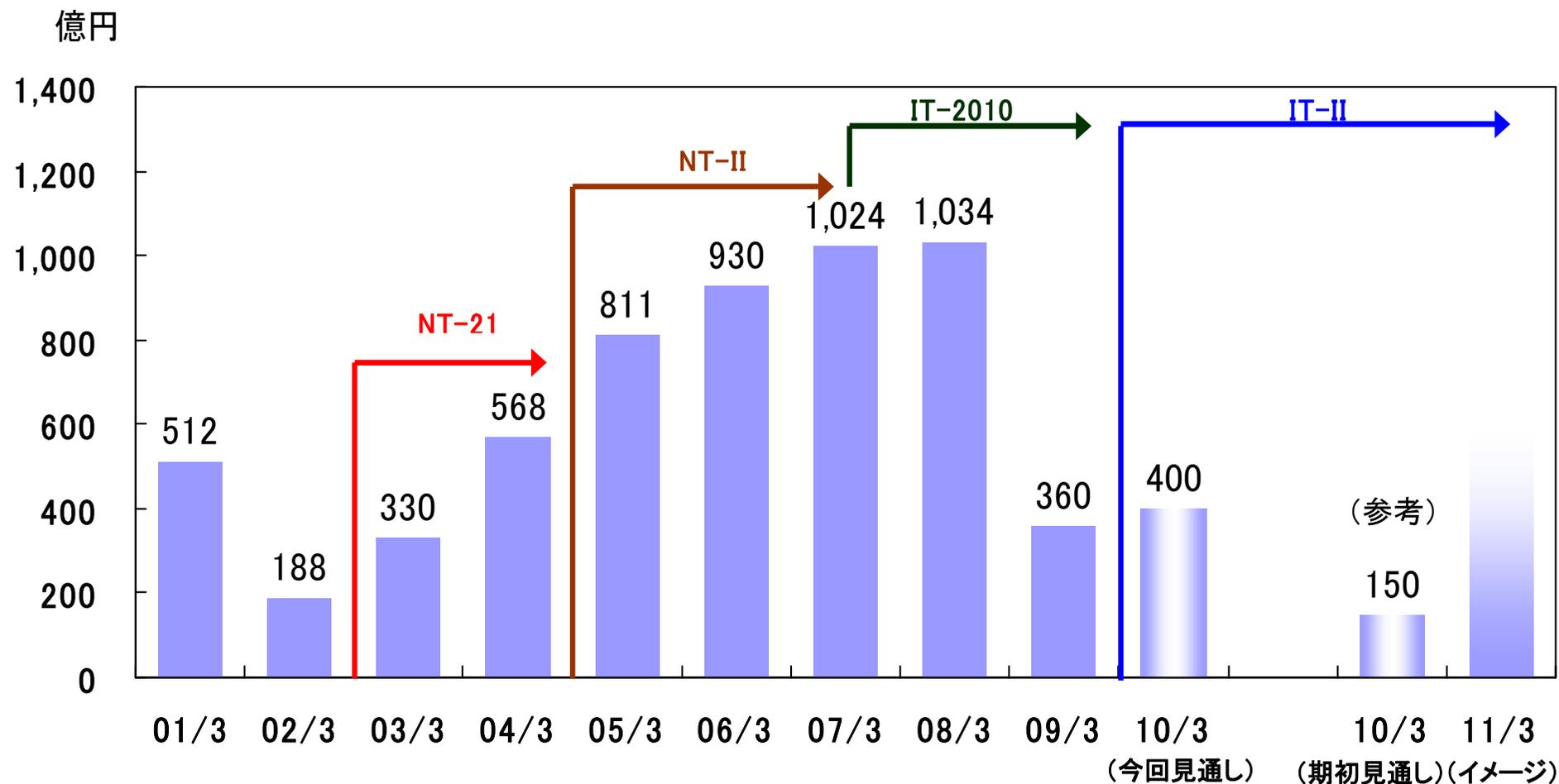
Innovation by Chemistry



連結営業利益の推移



Innovation by Chemistry



本資料中の2010年3月期の業績見通し及び事業計画・将来展望についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。